

# 南砺市東太美公民館

## ◆事業の目的

親子で昔の農業体験をすることによって地区の自然の素晴らしさや先祖の方々の苦勞を知る。自然とかかわり、地域の人びととの交流を深めることにより健全な精神が培われることを目的とする。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月3日(日)	昔の農業体験(田植え)	地区内	36名
8月9日(木)	魚つかみ大会	東太美公民館	51名
9月8日(土)	芋ほり大会	立野原借受畑	20名
10月7日(日)	昔の農業体験(稲刈り)	地区内	25名
12月9日(日)	田んぼ感謝祭	嫁兼公民館	40名
12月23日(日)	もちつき大会	東太美公民館	60名

## ◆事業の様子

### ☆ 昔の農業体験(田植え)

はだしで田んぼに入り手植えで苗を植えた。普段は田んぼに裸足で入るといふ経験のない子供たちは、営農の指導をしてくださる方たちと共に田んぼに入り、枠に沿ってきれいに苗を植えることができた。この体験によって、作ることの大変さや食物への感謝の気持ちがはぐくまれたと思う。



田植え

### ☆ 魚つかみ大会

準備は大変だが、子供たちにとっては最高に喜ぶ事業である。この事業は命、調理、火起し、食が伴っていて、大人の都合で勝手に止めるわけにいかないようである。

### ☆ 芋ほり大会

地域の方々にお世話をしてもらって、ようやく収穫の喜びに辿りついた感じがする。今年は早めに芋ほりをしたので、今までのような超大物はなく丁度良い大きさでうまく実施できた。

### ☆ 昔の農業体験(稲刈り)

鎌を使って一株ずつ手で刈り取った。刈り取った稲は、はさがけにした。春の田植えから稲刈りまでの農業体験は作物を作る大変さを体験することができ、また地域の人たちとの交流が生まれる良い機会となった。

### ☆ 田んぼ感謝祭(餅つき)

子供たちが作った田んぼで収穫したお米を使って餅つき(感謝祭)をした。農作業の大変さと、食物が出来る喜びを経験することができた。



魚つかみ



芋ほり



稲刈り



餅つき

## ◆事業の成果と課題

子供たちと親世代は地域の方々とはふれあう機会が少なく、今回の農作業を通じていろんな世代の方々との交流が生まれ、地域を愛する心も生まれたと感じた。今後の課題として、子供たちは参加しても親世代の参加が少ないので、親世代が参加しやすいような企画にしていかなければならないと思った。